



是永 宙 議員

高島の地域資源を活かした教育の充実について

問

「学校・地域連携カリキュラム」は、今後、どのような展開が考えられるか

答

子どもたちにも、地域の方々にも、「新しい発見」や「学び続けることの喜び」が感じられるような活動ができるよう、サポートしていきたいと考えています



問

「学校・地域連携カリキュラム」について、今後、どのような展開が考えられるか。

答

教育指導部長

地域や学校の実態に合わせて、小中9年間を見通し、地域資源を活用した教育活動が設定できているかなどを見直しポイントとして、学校運営協議会等で課題を出し合い、子どもたちの思いも反映しながら、カリキュラムの更新をしています。子どもたちにも、地域の方々にも、「新しい発見」や「学び続けることの喜び」が感じられるような教育活動が実践できるように、サポートしていきたいと考えています。

問

地域と学校との連携をサポートする体制はどうか。

答

教育指導部長

各中学校区に地域学校協働活動推進員を配置し、学校と地域をつなぐ役割を担っていただいております。同推進員を対象とした研修会や各学区の実践交流を行うとともに、多くの地域の方々にご協力をいただながら、「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいます。

問

地域の方々の参加や協力で進められている活動についてはどうか。

答

教育指導部長

スキー、カヤック、サイクリングなどの自然体験教室、郷土の偉人や歴史に関する学習、和太鼓や祭り、郷土の文化継承に関する学習、えり漁、やな漁、農作物の栽培収穫など地域の産業に関する体験、貴重な植物の保全活動、外来種の駆除活動などの環境に関わる学習活動などがあります。

問

市内の学校での特徴的な取り組みについてはどうか。

答

教育指導部長

すべての子どもたちが夢と希望をもち、健やかに育つよう、地域と一体となって生きる力を育む学校教育の推進に努め、地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする人材を育てるため、地域の特性を生かした教育活動を展開しています。